

個人投資家の皆さまへ SOMPOホールディングス 説明資料

2026年8月

SOMPOホールディングス株式会社



目次

1. SOMPOホールディングスとは
2. グループの成長戦略
3. SOMPO P&Cの成長戦略
4. SOMPOウェルビーイングの成長戦略
5. 2026年度第1四半期決算サマリー
6. まとめ

1. SOMPOホールディングスとは

創業

1888年

日本初の
火災保険や傷害保険を販売

保険収益

(売上高に該当)

5.3兆円

2025年度通期実績

過去2年で
5,360億円増収

修正連結利益^{*1}

5,352億円

2025年度通期実績

過去最高益^{*1}

グローバルの従業員数

約7万人超

29の国・地域で
事業展開

時価総額

6.6兆円水準^{*2}

東証プライム市場において
45位前後に位置

一株当たり配当

13期連続増配

2026年度予想
13年間で10倍

SOMPOが提供する価値

SOMPO P&C

国内外損害保険事業

将来のリスクを軽減

火災・自動車・傷害など
損害保険を提供

事故が起きてしまった際の
駆けつけサービスを提供

自治体など連携した
防災・減災の活動

事業活動を支える
企業向け保険を提供

SOMPOウェルビーイング

生命保険・介護事業

将来への不安を解消

健康を応援する
生命保険を提供

健康を維持する
各種サービスを提供

老後に備える
相談窓口を提供

老後を支える
介護サービスを提供



SOMPO

パーパス・目指す姿

安心・安全・健康であふれる未来へ

SOMPO P&C (国内外損害保険事業)

国内外の損害保険事業を一体運営

国内損保事業

- ✓ 高いマーケットシェア
- ✓ 2,000万人の顧客基盤

1888年
創業



2度にわたる合従連衡
損保ジャパン

海外保険事業

- ✓ 29か国・地域で展開
- ✓ 再保険グローバルTop10

2017年
エンデュランス買収
(6,000億円超)

2026年
Aspen買収
(約5,400億円)

SOMPOウェルビーイング

健康・介護・老後資金の不安を解消

国内生保事業

- ✓ 保険と健康を組合わせた
Insurhealth®

2001年
アイ・エヌ・エイ
ひまわり生命買収
SOMPOひまわり生命

2018年
Insurhealth®開始

介護事業

- ✓ 介護居室数No.1
- ✓ 介護システムトップシェア

2015～2016年
ワタミの介護
メッセージ買収
SOMPOケア

2023年
NDソフトウェア買収
 NDソフトウェア株式会社

SOMPOが目指す姿

日本で磨いたサービスを世界に輸出、グローバルに人々を支えるパートナーを目指す



自然災害



地政学リスク



人口減少
少子高齢化

SOMPOP&C

国内外損害保険事業

将来のリスクを軽減

SOMPOウェルビーイング

生命保険・介護事業

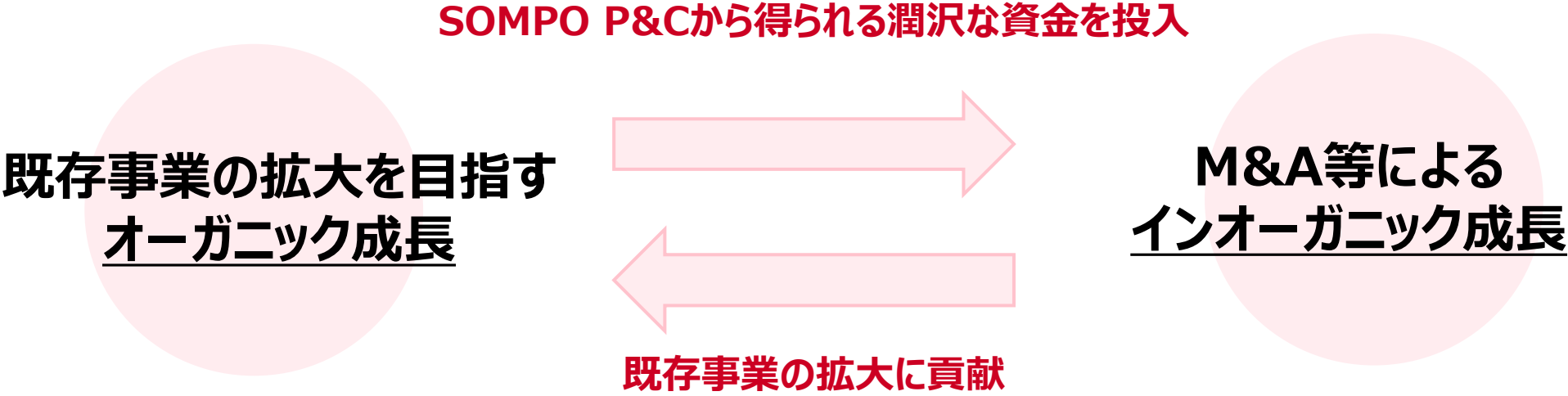
将来への不安を解消

**ソリューションを
世界へ輸出**



2. グループの成長戦略

オーガニック成長とインオーガニック成長で、SOMPOグループ全体の成長を目指す



収益基盤の強化	国内損保事業	SOMPO P&C	早期利益貢献のため 大型M&Aを中心とした 成長投資
地理的拡大	海外保険事業		
独自のInsurhealth®	国内生保事業	SOMPO ウェルビーイング	「健康・介護・老後資金」 といった社会課題に アプローチする成長投資
データ活用による 業務改革	介護事業		
成長への取組み			資金の投入先

1兆円規模の投資余力に加え、利益積上げや政策株式売却益により投資余力の拡大へ

SOMPO P&C
(国内外損害保険事業)

利益成長



Aspen買収後も成長投資方針は維持

**海外M&A
基準**

- ✓ 収益性の引き上げ
- ✓ 既存ビジネスの成長性・収益性・分散
- ✓ Aspenの経営統合を最優先

**国内M&A
基準**

- ✓ 発災前～災害後のサービス拡充

SOMPOウェルビーイング

リスク分散



つなぐ・つながるを加速

**ミッシング
ピース獲得**

- ✓ 従業員向けウェルビーイング向上
- ✓ 老後資金への備え

新規事業

リスク分散
将来の成長ドライバー



パーパスを基点とした、事業のホワイトスペース

積極的な成長投資を実施し、中期的に1,000億円超の利益積み上げを目指す

SOMPO
P&C

グローバルな元受・再保険会社

Aspenの買収

- ・ グローバルトップ10の再保険会社に
- ・ 2026年2月に約35億ドル(約5,400億円) で買収完了

米国の労災保険専門の保険会社

Service Insurance Companyの買収

- ・ 中小企業を中心に幅広い顧客層を獲得
- ・ 2026年7月に買収に合意

ブラジルで企業向け保険を提供する保険会社

Fator Seguradoraの買収

- ・ 既存のブラジルでの企業向け保険事業を補完
- ・ 2026年7月に買収に合意

「終活」領域において
日本最大級の情報ポータルサイトを運営

鎌倉新書社と資本業務提携

- ・ 生前の備えからご逝去後の手続き、ご家族のケアまでをワンストップでサポートする「終活インフラ」を提供
- ・ 介護事業のご利用者だけでなく、国内生保のご契約者に対しても終活関連サービスをご案内できる仕組みを検討

SOMPO
ウェルビーイング

2027年4月1日変更予定

SOMPOグループ株式会社

～ グループ結束力のさらなる向上 ～

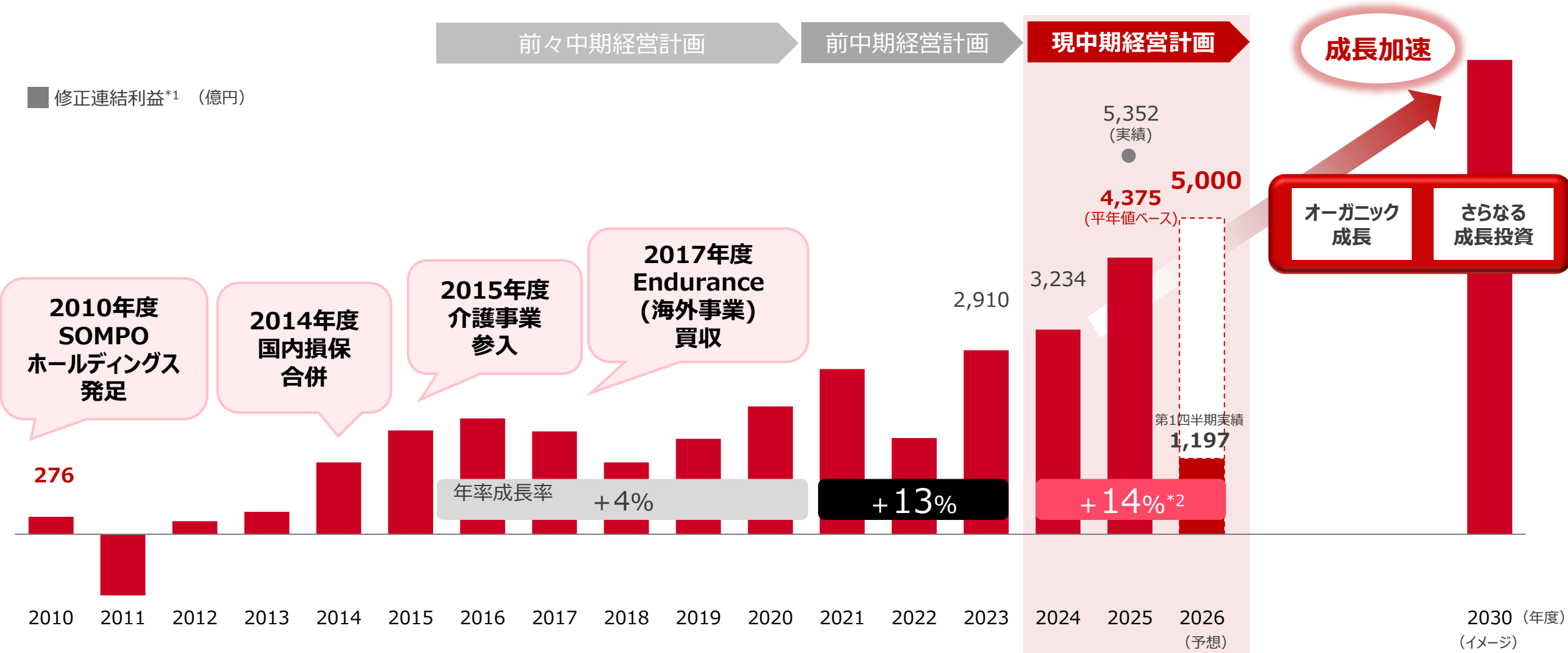
パーパス

“安心・安全・健康”であふれる未来へ

ビジョン

未来の可能性を解き放つ

今後もオーガニック成長に加え、さらなる成長投資により継続的な成長を目指す



中期的な成長目標

SOMPO P&CとSOMPOウェルビーイング、2つのビジネス領域の成長を目指す

2025年度

2030年度の
目指す姿を**前倒し達成**

修正連結利益

5,352億円

2030年度目標:5,000億円

時価総額*1

6.6兆円

2030年度目標: 6兆円

2026年度

2030年度に向け、
収益性を高める基盤整備

SOMPO P&C

既存事業の拡大と
さらなるオーガニック成長

SOMPOウェルビーイング

「実装・事業拡大フェーズ」へ移行

中期

利益拡大を通じて、
安定的に成長



さらなる高みへ

株主還元方針

2026年度の配当性向は39%に引上げ一株当たり配当200円、中期的には配当性向50%へ

13期連続増配^{*1}

現中期経営計画の株主還元方針

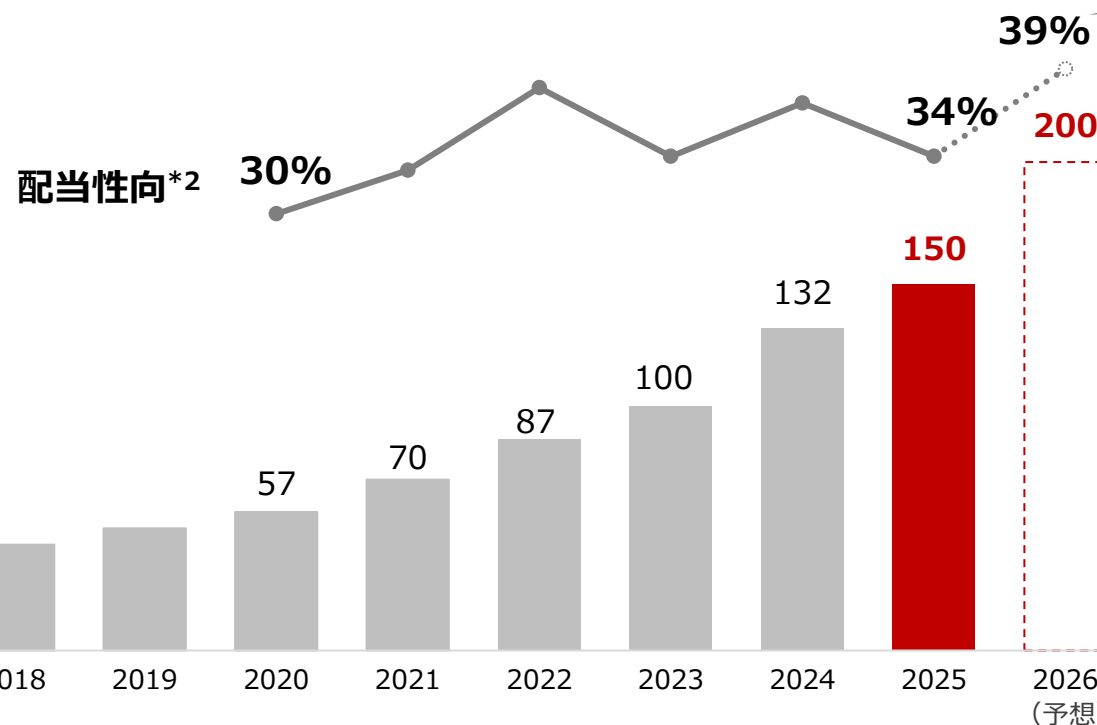
基礎還元

修正連結利益（IFRSベース、
直近3年度平均）の50%

追加還元

原則、政策株式売却
損益等（税後）の50%+α

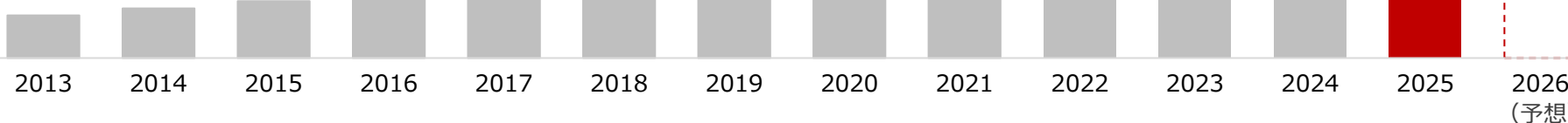
配当性向^{*2}



中期的に
配当性向を
50%へ引き上げ

一株当たり配当(円)

20



(億円)

総還元額	347	456	658	916	813	819	900	1,011	1,507	1,121	1,759	3,859	2,816	-
配当額	247	286	323	354	422	484	547	607	727	871	989	1,259	1,356	1,750
自己株式取得	100	170	335	562	391	335	353	404	780	250	770	2,600	1,460	-

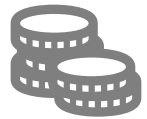
^{*1} 2013年度年度以降、2026年度予想を含む

^{*2} 配当額／修正連結利益、2021年度と2022年度の修正利益は一過性要因を除いた平年値ベース、2024年度までは日本基準の修正連結利益、2025年度以降はIFRSベースの修正連結利益の3年平均

3. SOMPO P&Cの成長戦略

SOMPO P&C（国内外損害保険事業）の概要

国内の損害保険会社で唯一、国内外の損害保険事業を統合し、一体化したブランドで展開



保険収益*1
(売上高に相当)

約**5.1**兆円



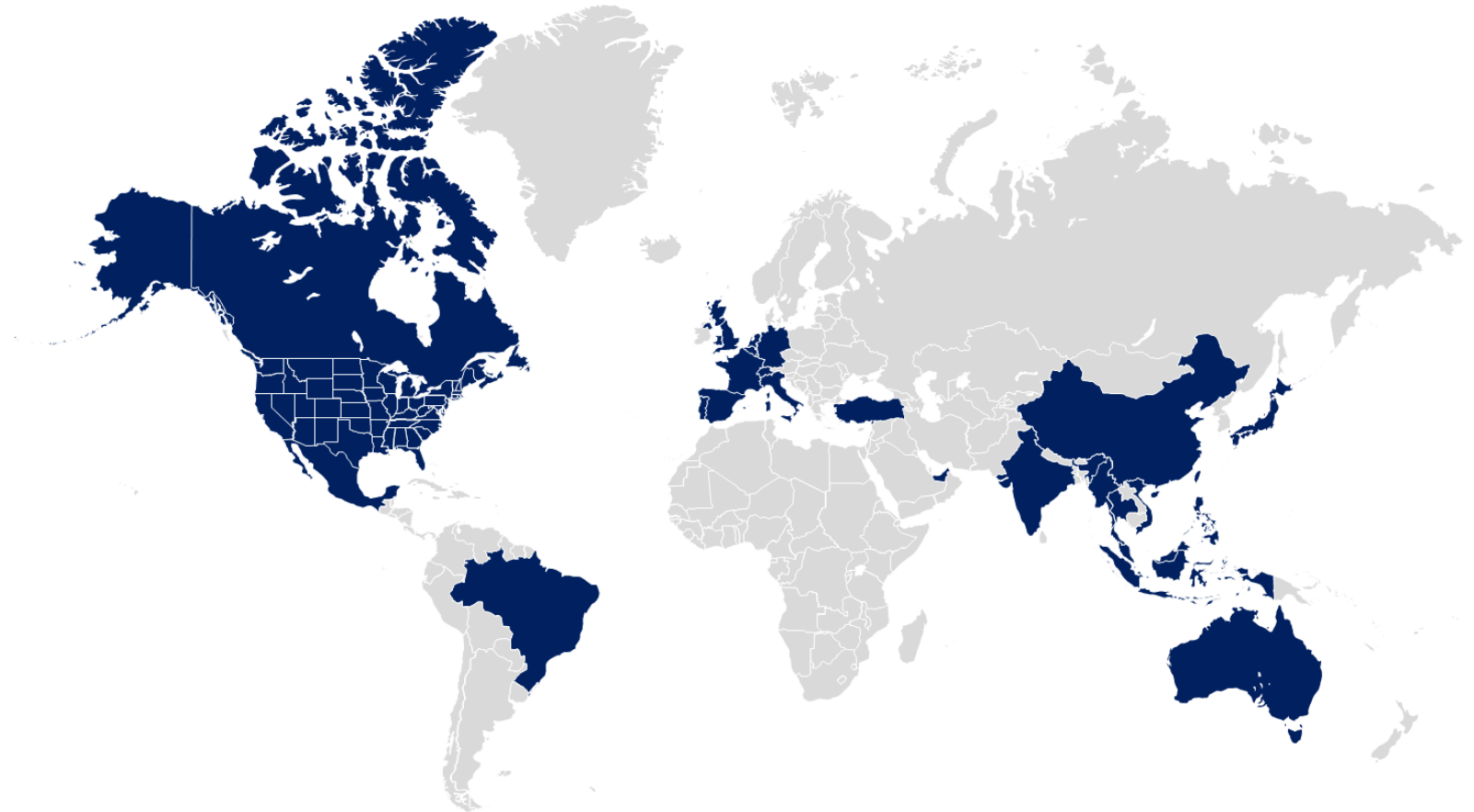
事業展開*2

29か国・地域



グローバルの従業員数*2

30,000人超



国内と海外の損害保険事業の一体運営により、すでに多方面でシナジーが発現



再保険の最適化

- ✓ スケールメリット、分散効果
- ✓ 2025年度は**再保険料60億円程度の削減**に成功



資産運用の一体化

- ✓ 運用の高度化による**投資収益増加**
2026年度は+**50百万ドル**
- ✓ スケールメリットによる**コスト削減**



国内損保の改革

- ✓ **グローバル水準**のノウハウ導入
- ✓ **収益性・効率性の徹底追求**
- ✓ 海外の知見によりITコスト削減
2026年度は100億円程度

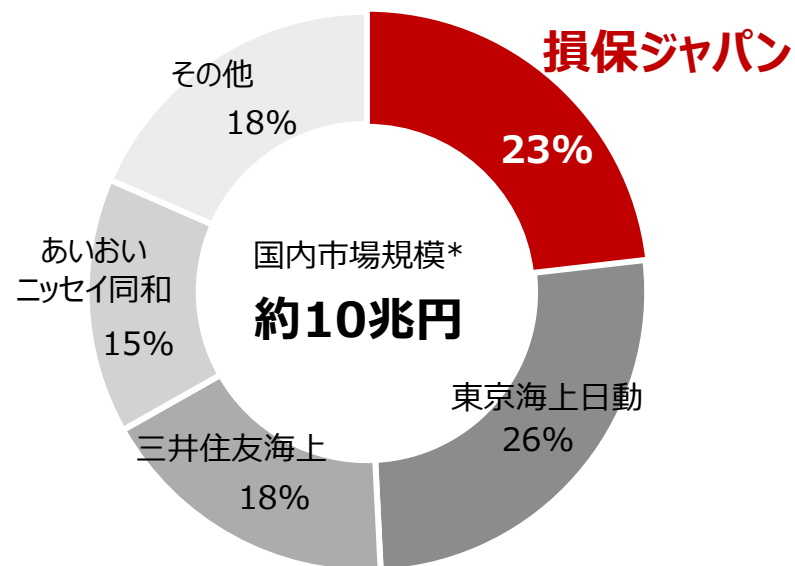
3. SOMPO P&Cの成長戦略

- 国内損保事業(損保ジャパン)**

国内損保事業(損保ジャパン)の概要

損保ジャパンは国内最大級の損害保険会社で、安定したマーケットシェアと約2,000万人の顧客基盤を保有

高いマーケットシェア



- ✓ 国内で**約1/4のシェア**を保有
- ✓ **国内最大級の損害保険会社**

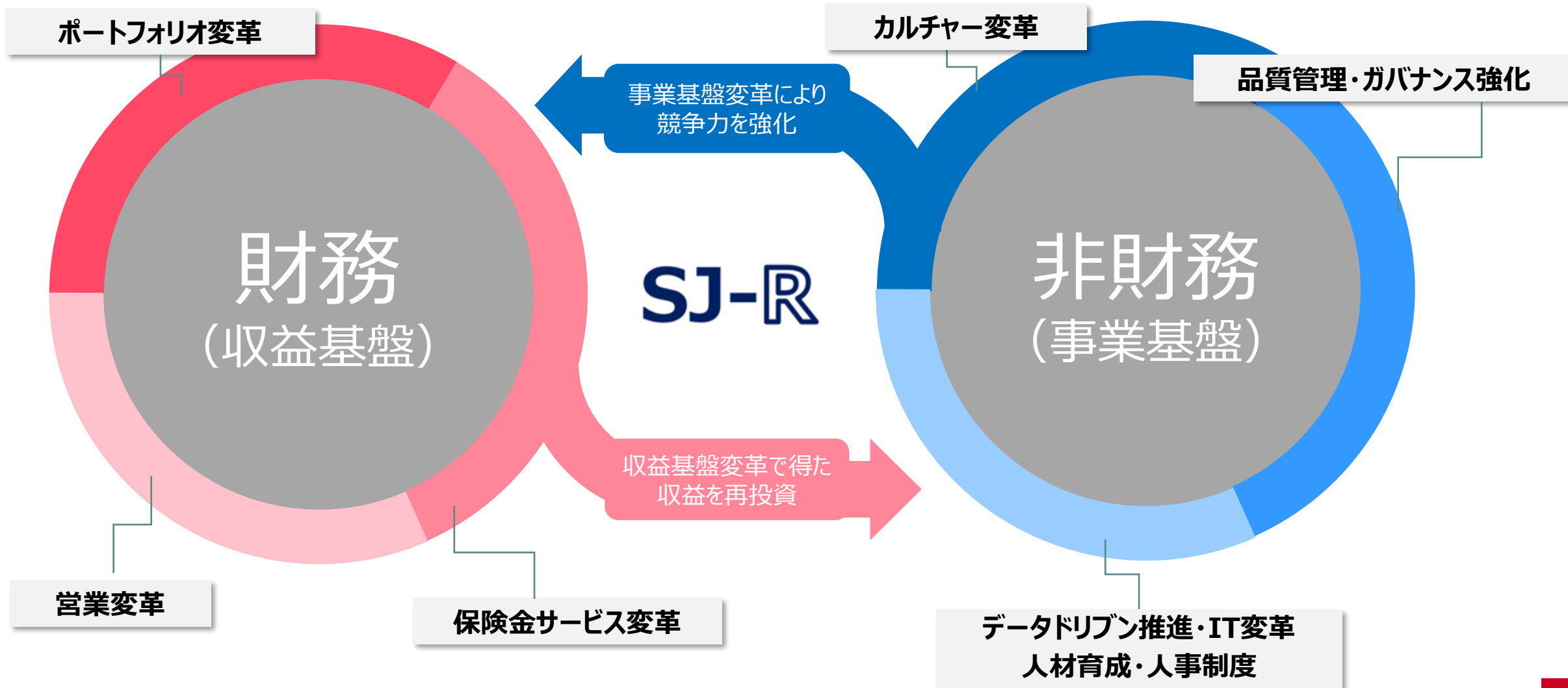
強固な顧客基盤



- ✓ 国内に**2,000万人の顧客基盤**
- ✓ **約4万店の代理店網**

新しい損保ジャパン（SJ-R）

一連の問題を踏まえ、収益基盤変革と事業基盤変革を両輪に、持続的な成長を実現する



信頼回復へ向け、「新しい損保ジャパン」に生まれ変わるべく、様々な取り組みを実施

問題の要因



営業・シェア偏重の
誤った価値基準



風通しの悪い
不健全な企業風土



ガバナンス・
カルチャー変革

- ✓ 最高カルチャー責任者の新設
- ✓ 現場の声を直接届ける「どろたまBOX」の運用
- ✓ カルチャー変革に向けた本社役員によるタウンホールミーティング実施



営業・
ビジネスモデル変革

- ✓ 政策株式削減(2024～2026年度で約1兆円)
- ✓ 代理店自立化(自己完結率7割超)の推進、出向者の帰任
- ✓ 拠点の統廃合が進捗、
中計期間にて85拠点を削減予定（2026年度：△30拠点）



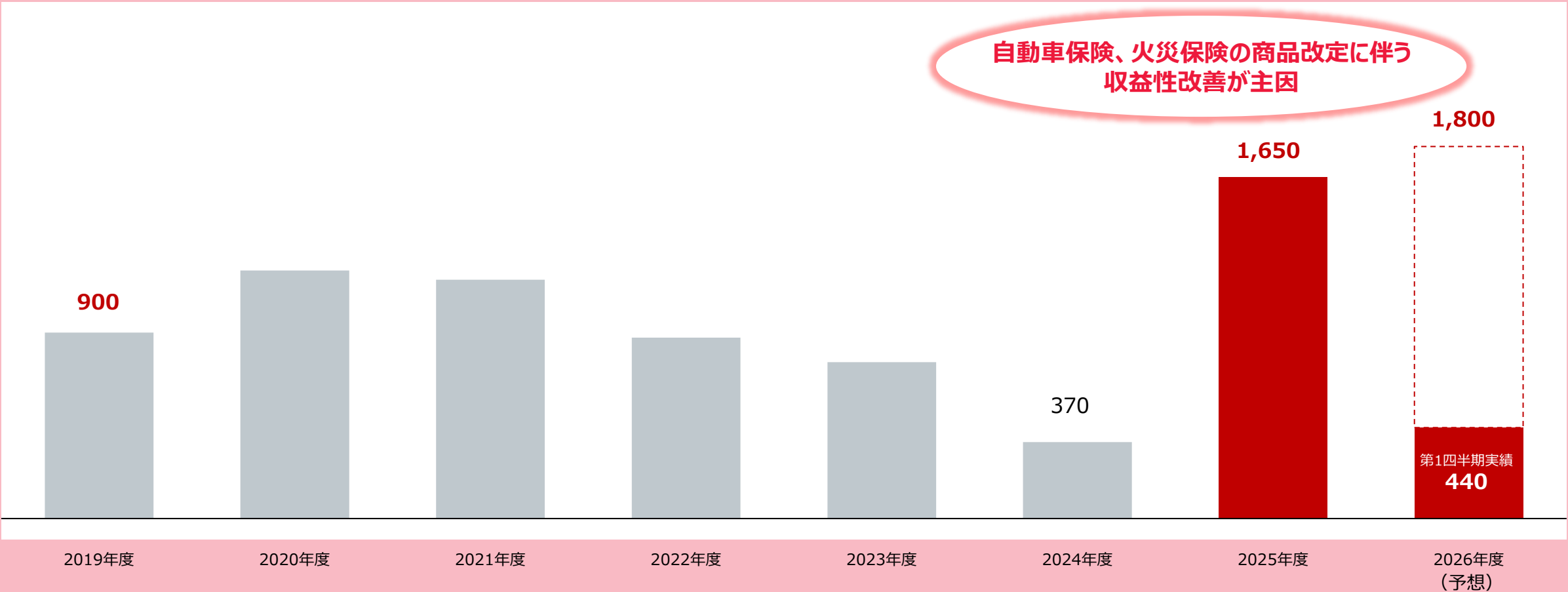
AI・データ活用による
保険金支払の変革

- ✓ 属人的な判断からAIアラート検知へ移行
- ✓ 支払の適正化と生産性向上を両立
- ✓ AIスキャナと板金塗装不要な技術に強みを持つ
独DRSグループとの戦略的提携

国内損保事業の修正利益の推移

2024年度から開始したSJ-R等の取組みにより、収益性は着実に改善

国内損保事業の修正利益（億円、自然災害等の影響を平準化、含む損保ジャパン）



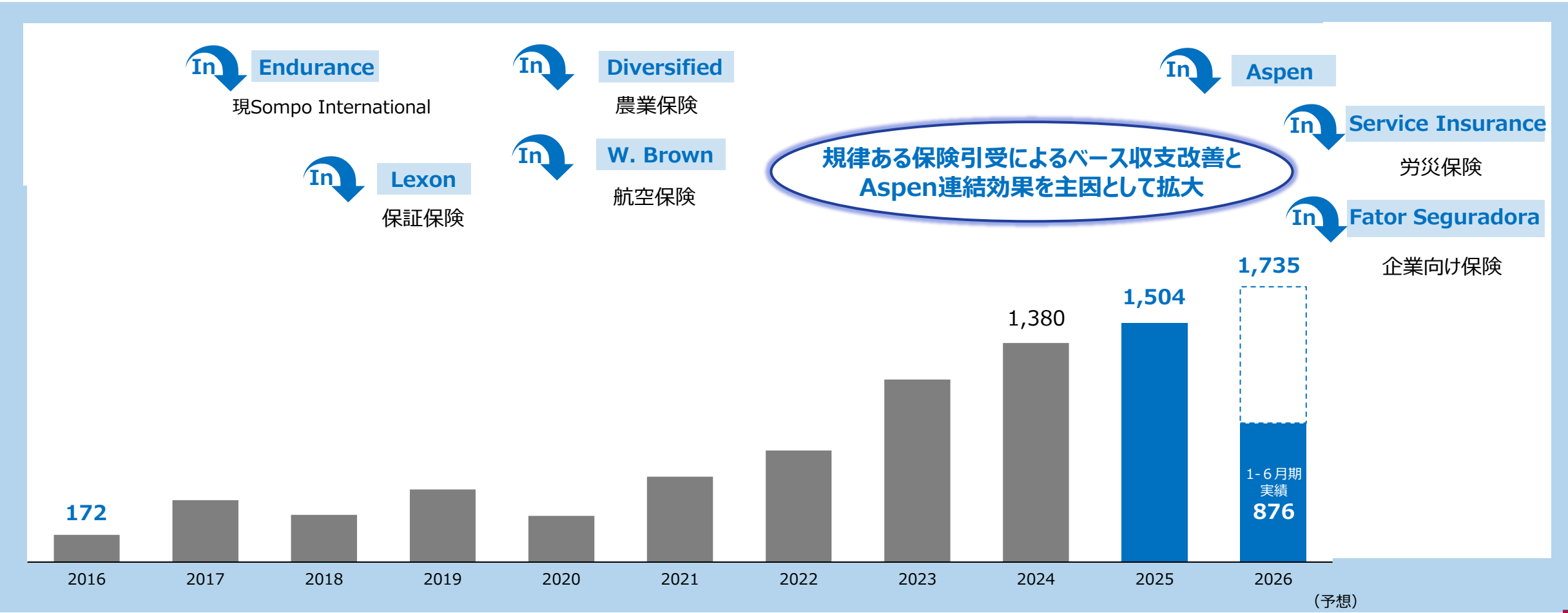
* 自然災害・大口事故・コロナ影響を平準化（概算）、2024年度までは日本基準ベース、2025年度以降はIFRSベース
2025年度以降は会計基準変更影響として+400億円程度を含む

3. SOMPO P&Cの成長戦略

- 海外保険事業

Sompo International（Endurance）のグローバル・プラットフォームをベースに、成長投資を実行しつつ、継続的に拡大

海外保険事業の修正利益*（百万ドル）

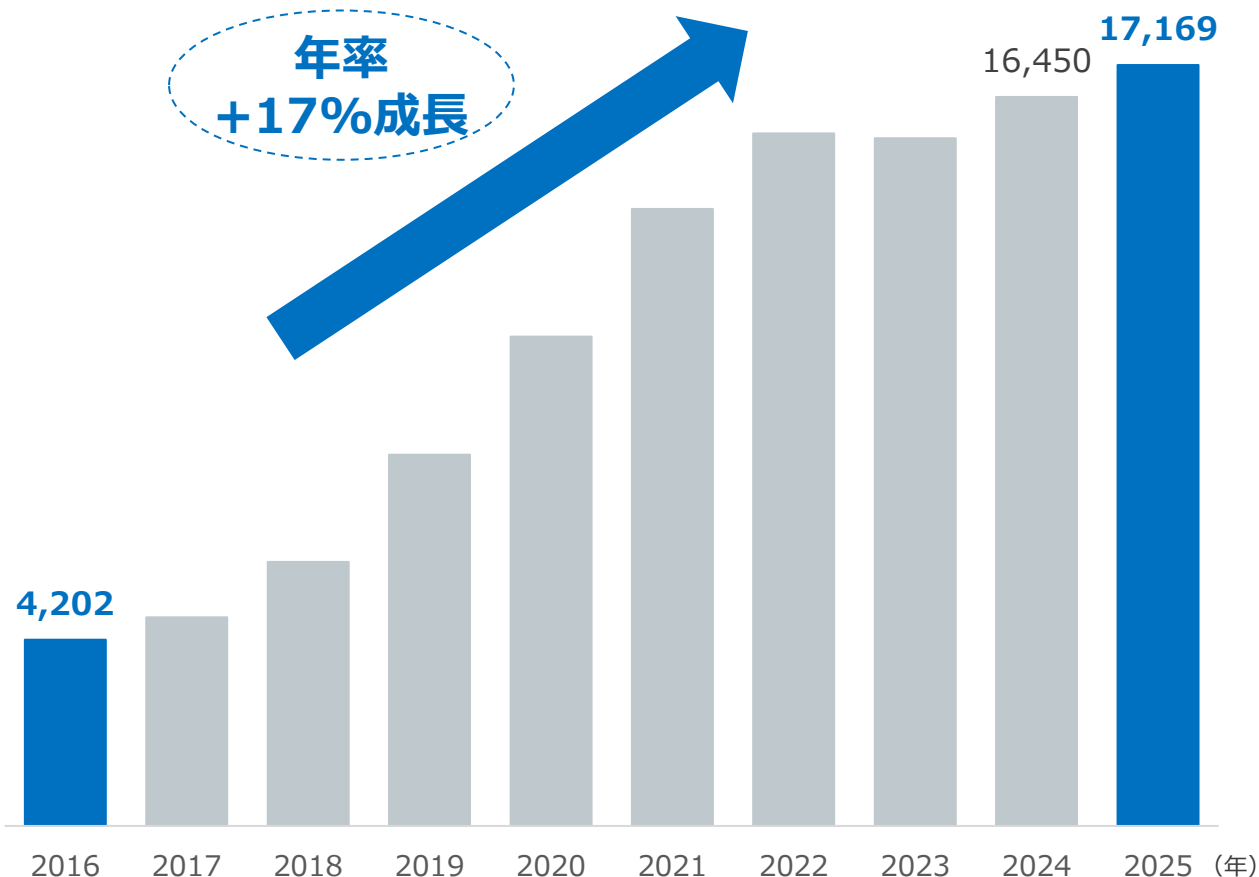


*IFRS4ベース（1-12月期）

海外保険事業の成長戦略 ①保険引受

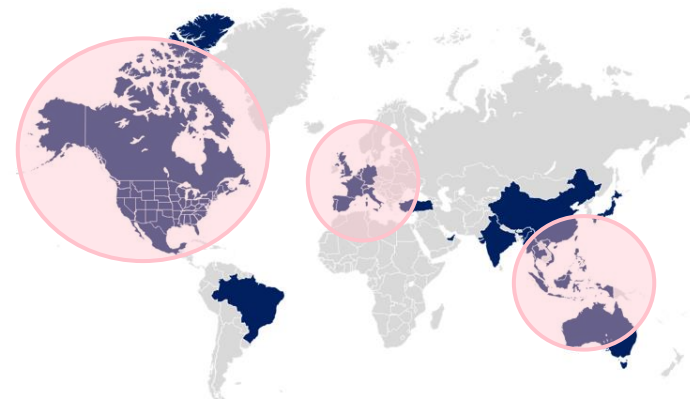
グローバルな地理的拡大によってトップラインは安定的に成長、損保ジャパンと同水準まで増加

(グロス保険料、百万ドル)



拠点開設や新規採用による地理的拡大

- | | |
|--------|---|
| ~2024年 | <ul style="list-style-type: none">・デンバー、ヒューストン、マイアミに開設・北米の既存オフィスを拡張・欧州6拠点、英国2拠点の新設 |
| 2025年 | <ul style="list-style-type: none">・NYオフィス拡張開始・アリゾナ州への拡大計画開始・カナダ（カルガリー、バンクーバー、モントリオール）進出検討開始・オランダ、ベルギーに拠点開設・オーストラリア（シドニー、メルボルン）の強化 |
| 2026年 | <ul style="list-style-type: none">・北米ではブローカーとの連携強化により、拡張機会が増加・英国、欧州での新規契約の獲得/継続が良好・APACでの保険引受が好調 |



海外保険事業の成長戦略 ②資産運用

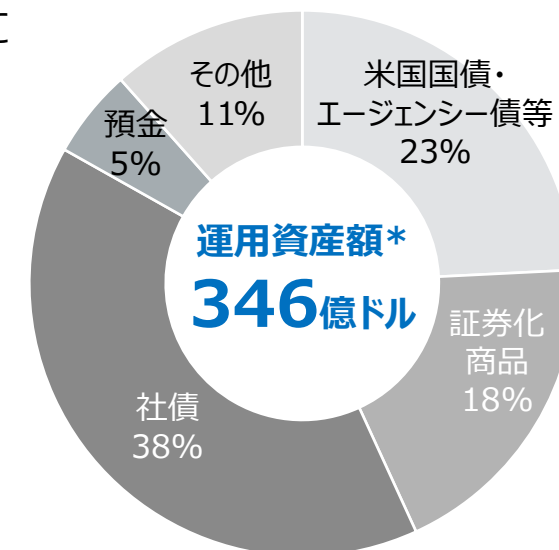
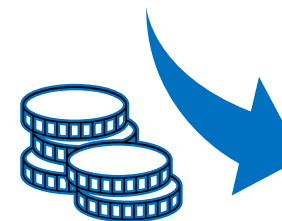
保険キャッシュフローからの運用資産の増加が資産運用利益を押し上げ

(資産運用利益、百万ドル)



資金運用の源泉

保険引受から生み出される潤沢なキャッシュが
運用原資に



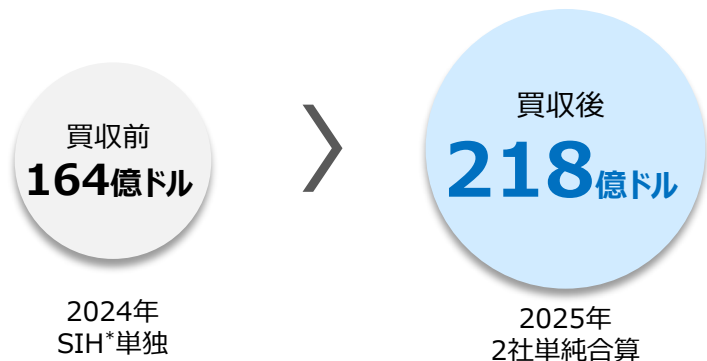
- ✓ 保険からのキャッシュフローによる**運用額拡大**
- ✓ **高い簿価利回り**の維持

* SIH連結外の海外グループ会社および事業用現金等を含まない、2026年度第1四半期

Aspen買収によって、海外保険事業は大きく拡大し、グループの成長スピードは飛躍的に上昇

規模・事業領域拡大

グロス保険料



- ✓ 北米と再保険を中心に**規模が拡大**
- ✓ **グローバルトップ10の再保険会社**に
- ✓ 世界的な保険市場**ロイズへのアクセス**
- ✓ 資本効率の高い**フィー収入獲得**

事業基盤の強化

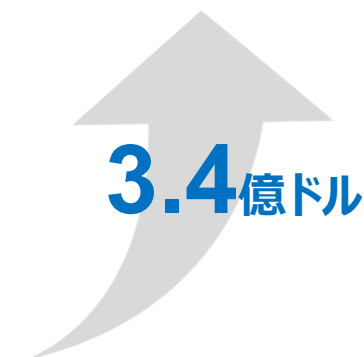
統合シナジー



- ✓ コスト、収益、資本の面で**大幅な統合シナジー発現**
- ✓ 2026年度は60百万ドル、2029年度までに計**2億ドルの**
コスト削減効果を見込む

財務面での高い貢献

利益貢献



- ✓ 2026年度は**3.4億ドルの**
利益貢献見込み
- ✓ グループ資本効率上昇に寄与

4. SOMPO ウェルビーイングの成長戦略

3つの「不」を解決し、年を重ねることをポジティブに捉えられる社会の実現を目指す

SOMPOグループの原点

- ✓ 1888年東京火災創業
- ✓ 江戸の火消しの心意気が創業精神
- ✓ 正式認可された日本唯一の私設消防組



社会課題
人々の困りごとを解決する

顕在化する新しいリスク

老後資金の「不」

老後資金を自分で備えられる人：**1割**

介護の「不」

家庭における介護の担い手は**減少**
(介護需給ギャップの深刻化)

健康の「不」

平均寿命と健康寿命のギャップ：**約10年**

3つの「不」を解決するビジネスモデルを構築

安心・安全・健康の保険機能に、新時代の介護、そしてヘルスケアをつないだユニークな事業体を構築し、人々の人生に伴走して、お客さまに選ばれるブランドへ

SOMPO ウェルビーイングが提供するサービス

保険事業 主として国内生保事業	介護事業	その他のグループ事業が提供する コーポレートウェルネス領域
SOMPOひまわり生命 生涯の伴走者としてInsurhealthによる 健康寿命の延伸・万が一場合のサポート	SOMPOケア  NDソフトウェア株式会社 介護サービスのオペレーションを磨き、 他の介護事業者にもソリューションとして提供とし、 業界全体の品質と効率を向上	SOMPOヘルスサポート ウェルネス・コミュニケーションズ SOMPOウェルビーイング株式会社  取引先企業従業員の健康行動の推進 企業人事向けの健康経営をサポート

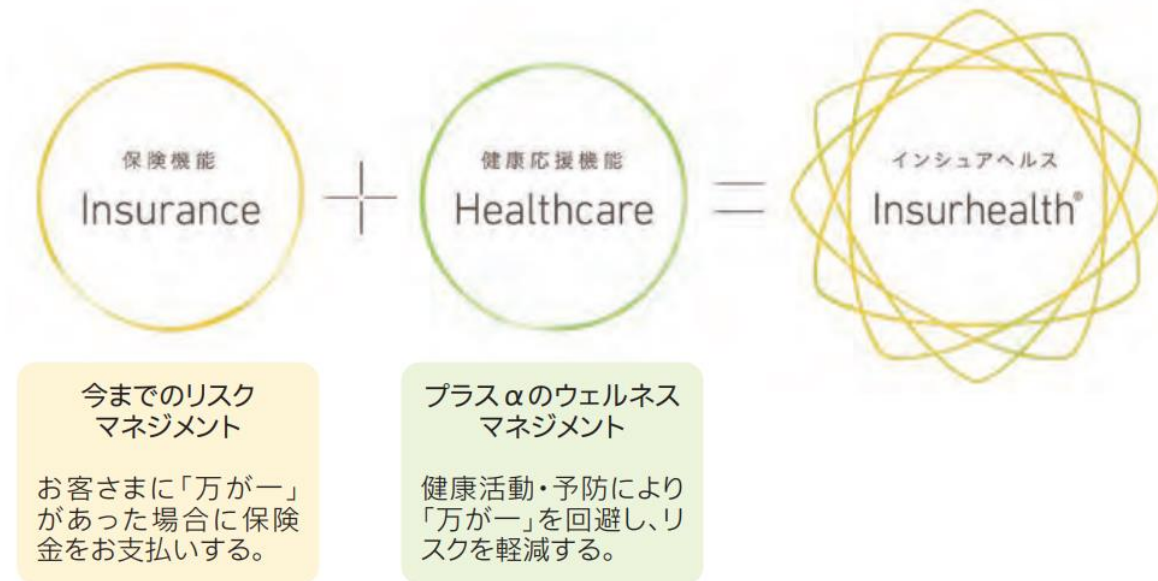
4. SOMPOウェルビーイングの成長戦略

- 国内生保事業

本来の役割(Insurance)と健康をサポートする機能(Healthcare)を組み合わせた新しい価値「Insurhealth®」を提供

SOMPOひまわり生命

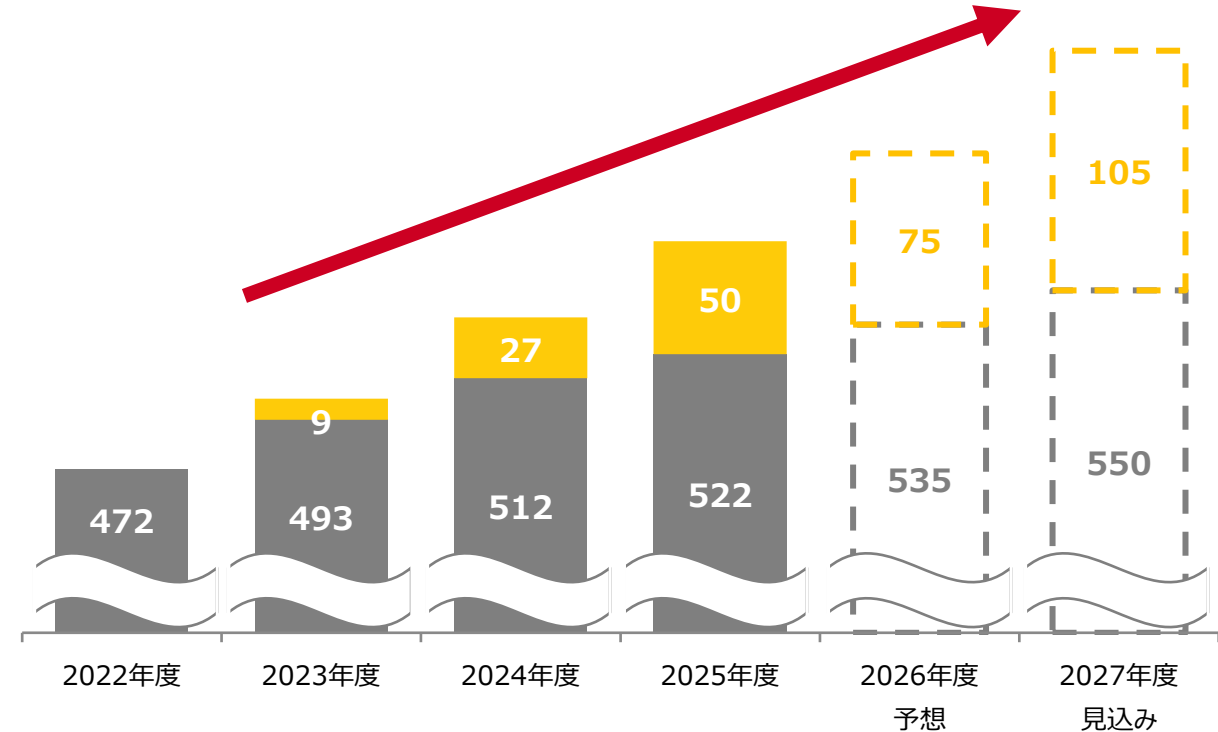
独自のInsurhealth®(保険+健康)



お客さまの数 (万件/万人)

■ 保有契約件数 ■ サービス利用者数*1

保険 + 健康サービスの
お客さまの数は着実に増加



*1: 健康応援サービス利用者数

国内生保事業の成長戦略

事業成長を支える3つの柱により、修正利益800億円を目指す

1 保険×健康データを活用

- ✓ Insurhealth®商品200万件により蓄積した保険×健康データを活用し、データに基づく商品・サービス提供

2 より多くのお客様と伴走

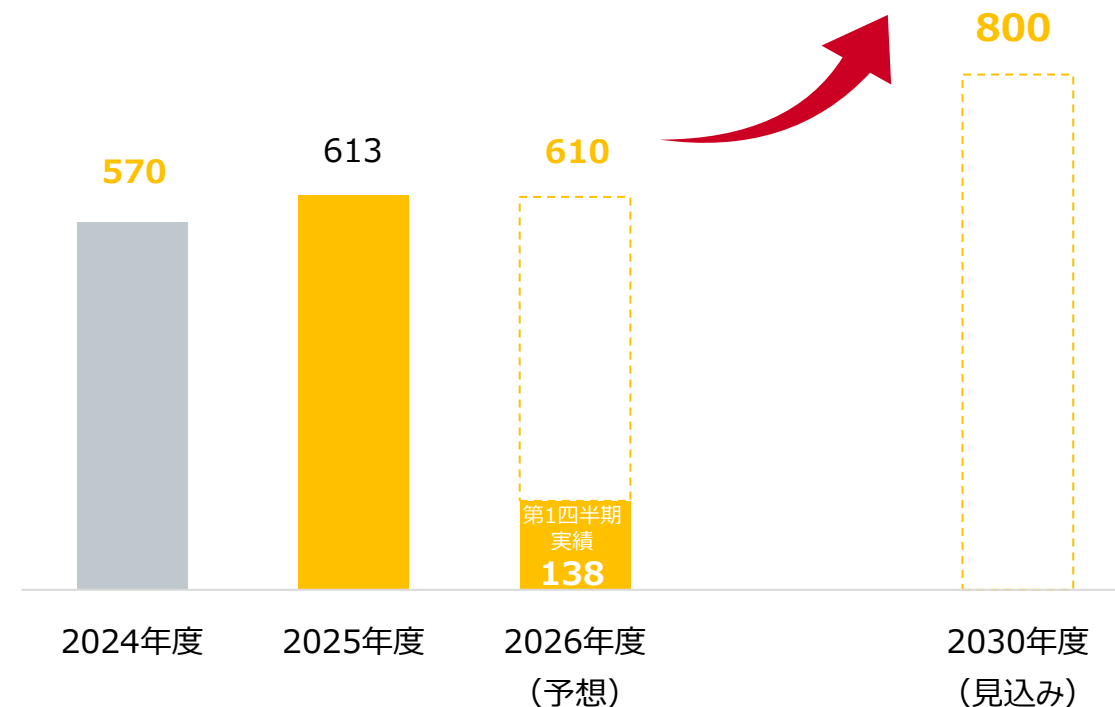
- ✓ 保険とウェルビーイングサービスを一体提供し、お客様の生涯をサポート
- ✓ 約2,000万人の顧客を持つ損保ジャパンとの連携強化

3 生産性向上・AI活用

- ✓ 生産性向上・AI活用による徹底的な事業の効率化
- ✓ 事業費削減により利益拡大につなげる

修正利益

(億円)



4. SOMPOウェルビーイングの成長戦略

- 介護事業

2025年度は過去最高益である修正利益109億円、デジタル活用と各種サービス連携で今後も安定的に利益を伸ばす

SOMPOケア

NDソフトウェア株式会社

介護オペレーター大手

介護システム大手



シニアリビング居室数

業界No.1

(約29,000室)

ご利用者さま **約8.7万名**



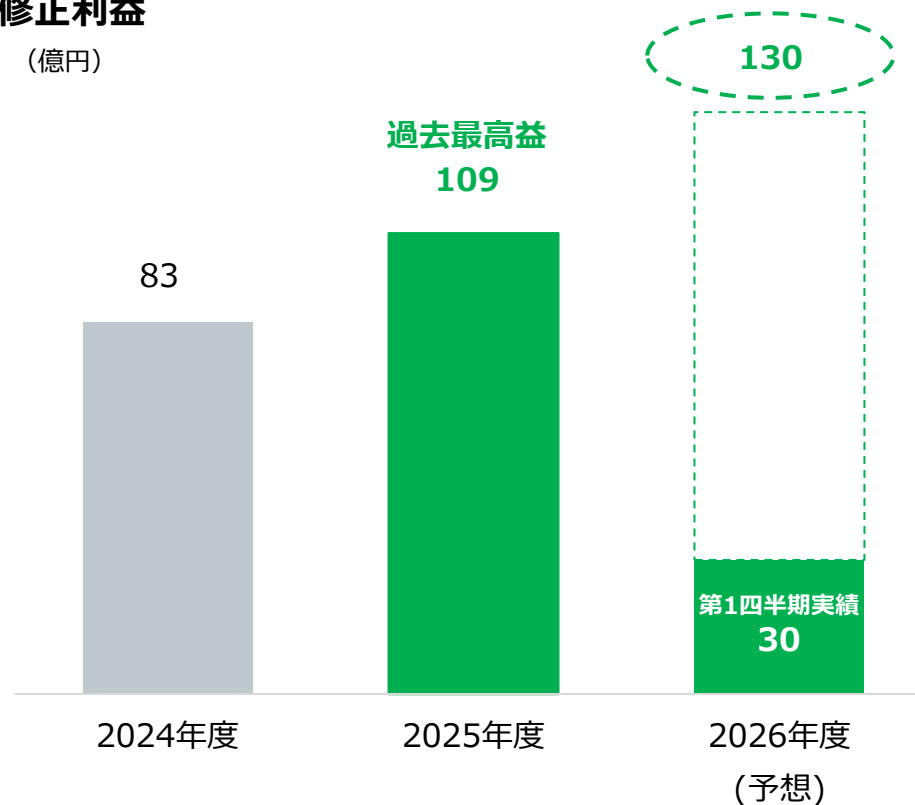
介護業務支援ソフトウェア

導入事業所数

業界No.1

約7.2万事業所

修正利益
(億円)



デジタル・データ・AIをフル活用した「未来の介護」をオペレーションモデルとして実現する

デジタル・データ・AIを活用した介護を実装・実証
ご入居者さまデータの可視化・モデル開発



介護法定帳票やケアプランの自動作成



介護記録の音声入力



AIカメラによる転倒事故検知



ご入居者さまデータの可視化・モデル開発

ご入居者さまにとっても介護スタッフにとっても
より良い介護現場をつくる



人は人にしかできないことに注力



徹底的な効率化による人手不足の解消



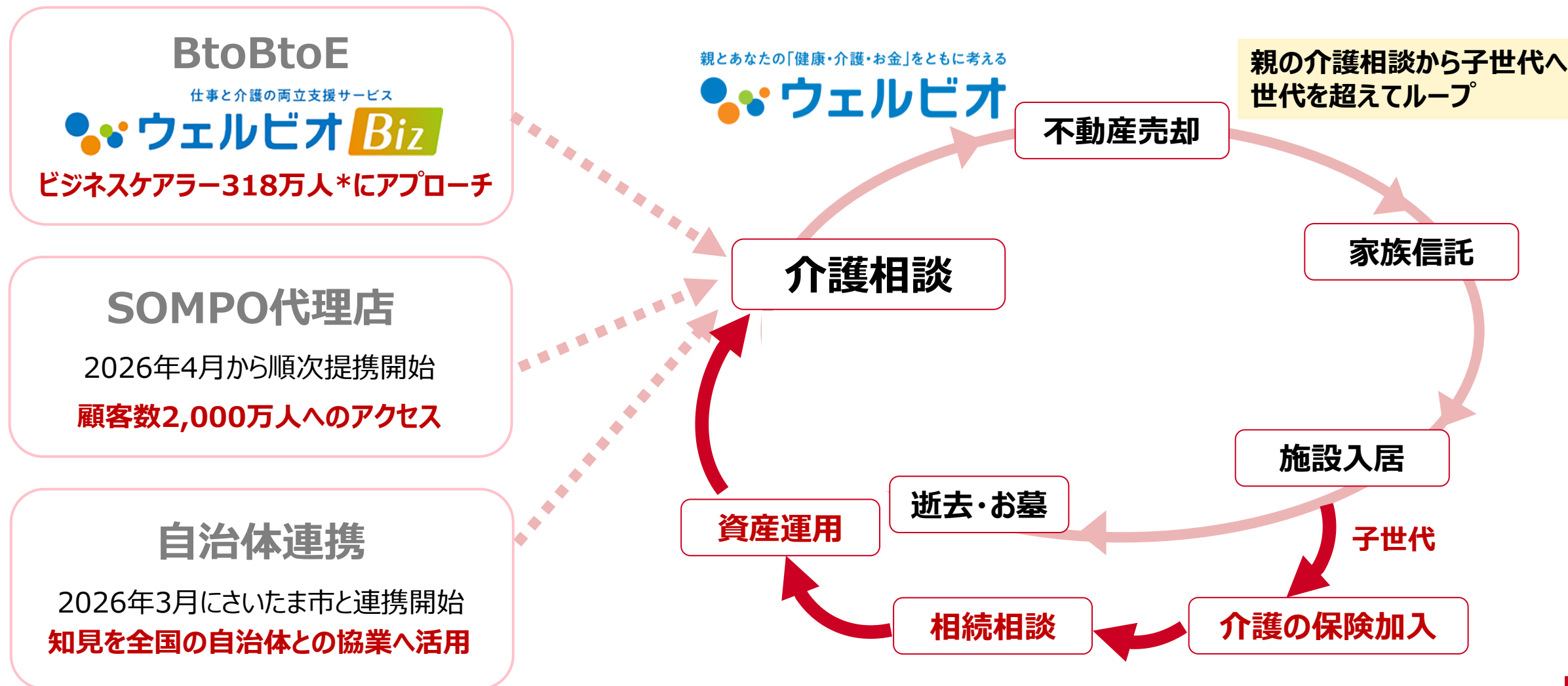
エビデンスに基づく一人ひとりのための介護



介護スタッフがやりがいと誇りを持てる職場

各サービスの連携

お客さまのニーズとグループの各種サービスを的確にマッチし、お客さまと伴走する取組みへ



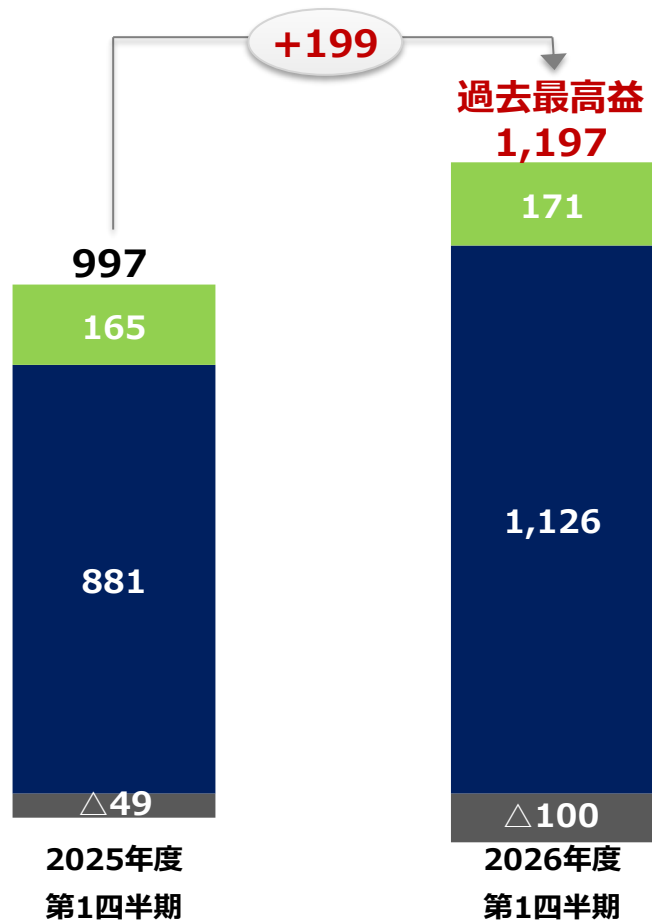
* 経済産業省による2030年予想値

5. 2026年度第1四半期決算サマリー

修正連結利益 (億円)

■ SOMPO P&C ■ SOMPO ウェルビーイング ■ その他

(億円)



2026年度予想

5,000億円 進捗率24%

国内損保 対前比+224億円

- ✓ 自動車・火災・新種保険の収支が改善
- ✓ 2026年8月の熊本地震の影響は軽微(中間期への反映)

海外保険 対前年+145億円

- ✓ 投資損益が増加

6. まとめ

SOMPO P&C/SOMPO ウェルビーイングの2つのビジネス領域を展開

成長投資で継続的に成長

配当を重視し、中長期的には配当性向50%を実現

2026年第1四半期決算は、第1四半期として過去最高益

参考資料

会社概要

SOMPO ホールディングス



会社名	SOMPOホールディングス株式会社
創業 【持株会社発足】	1888年 【2010年4月】
本店所在地	東京都新宿区西新宿1-26-1
証券コード	8630（東証プライム市場）
主業態	保険業
保険収益 ^{*1}	5兆3,729億円
連結当期利益 ^{*1}	6,429億円
修正連結利益 ^{*1}	5,352億円

格付け^{*2}

強固な財務健全性を維持

2026年4月1日時点

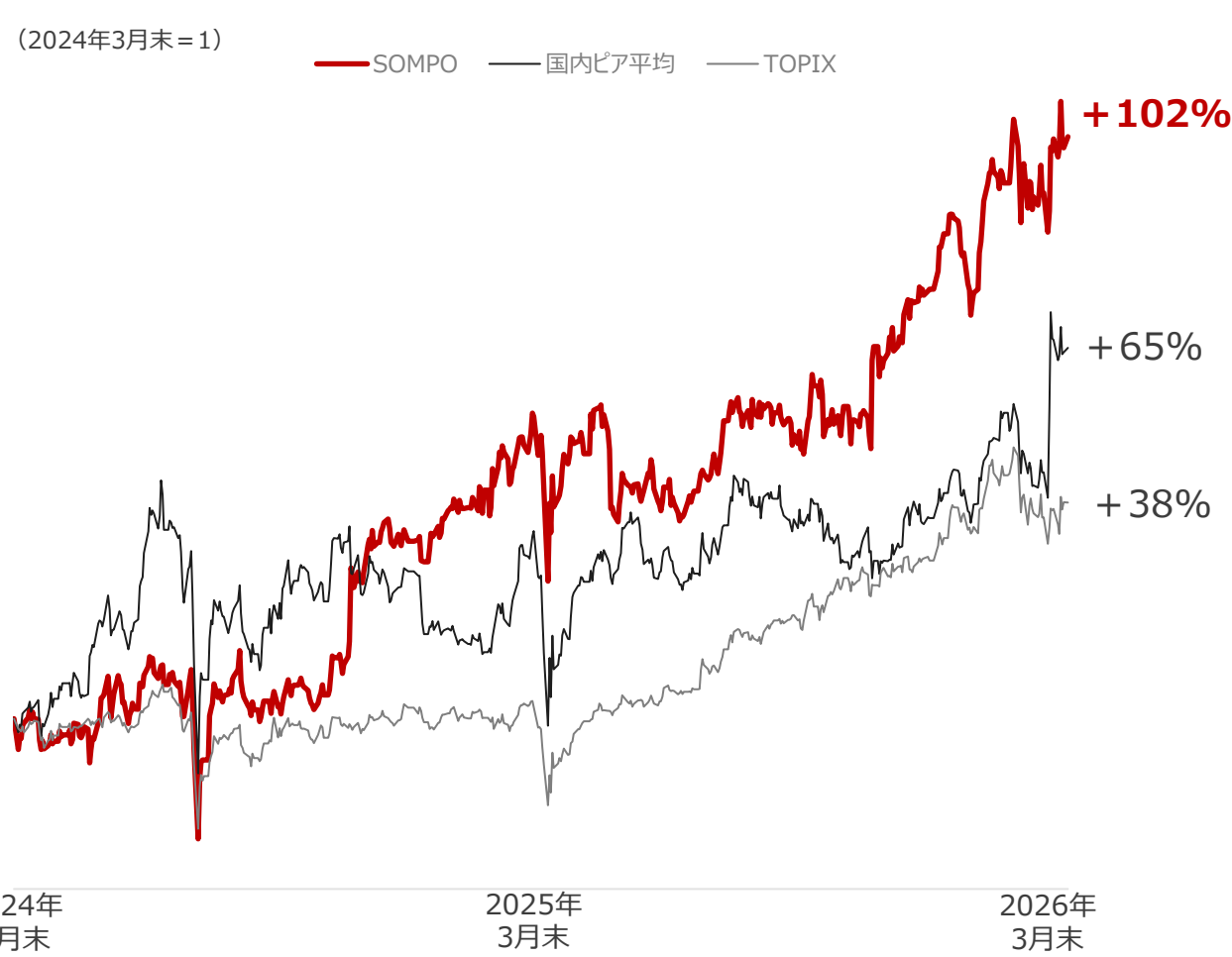
S&P A+ （安定的） 損害保険ジャパン	Moody's A1 （安定的） 損害保険ジャパン	格付投資情報センター （R&I） AA （安定的） 損害保険ジャパン SOMPOひまわり生命
日本格付研究所 （JCR） AA+ （安定的） SOMPOホールディングス 損害保険ジャパン	A.M. Best A+ （安定的） 損害保険ジャパン	Fitch AA- （安定的） 損害保険ジャパン

^{*1} 2025年度期末実績、IFRSベース ^{*2} 格付け付与対象はすべて単体

株価・バリュエーション推移

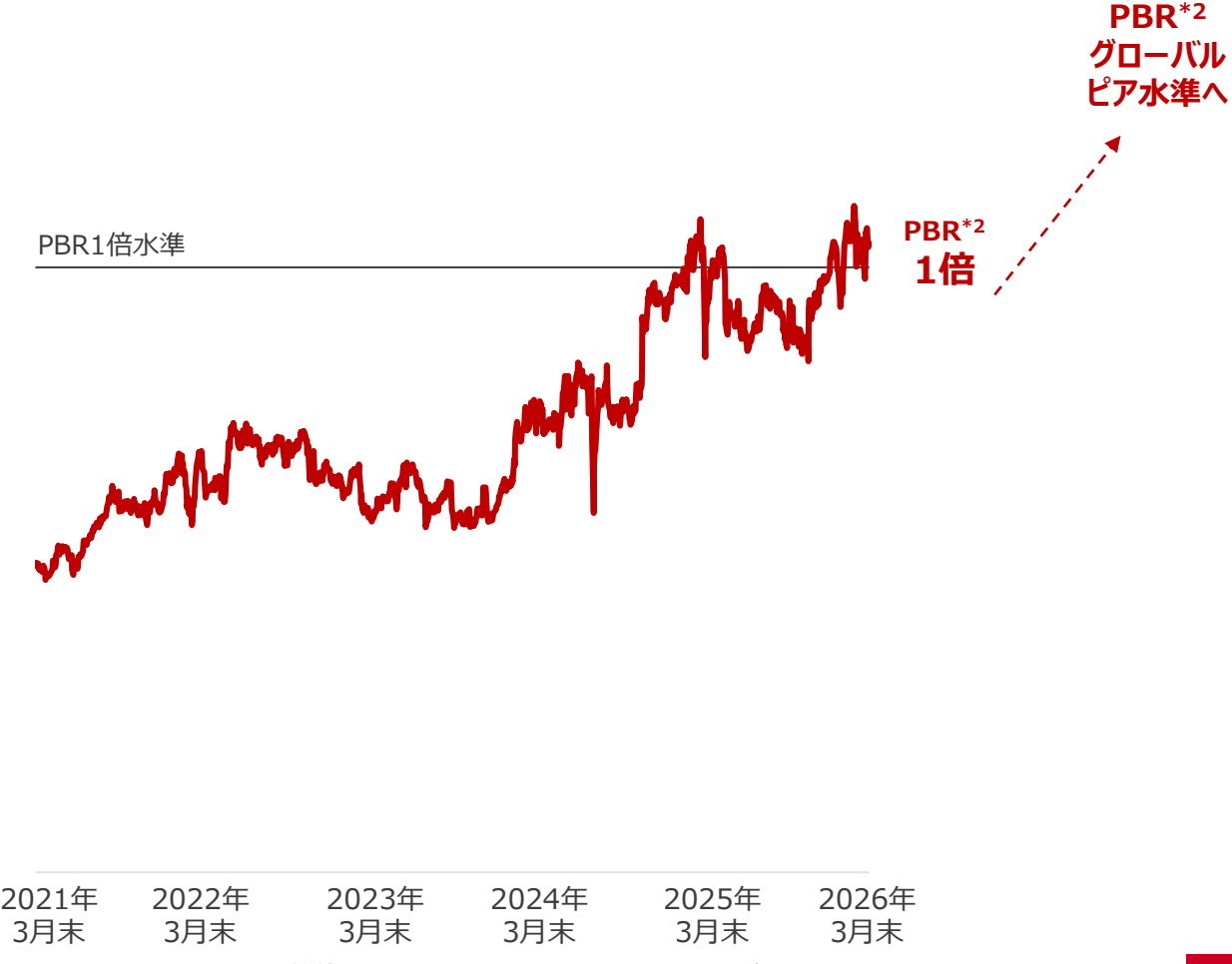
- ・ 利益成長などにより株価は現中計の2024年度以降着実に改善、国内ピアやTOPIXをアウトパフォーム
- ・ バリュエーション（PBR）は1倍まで改善、さらなる向上を目指す

トータル・シェアホルダー・リターン*1の推移



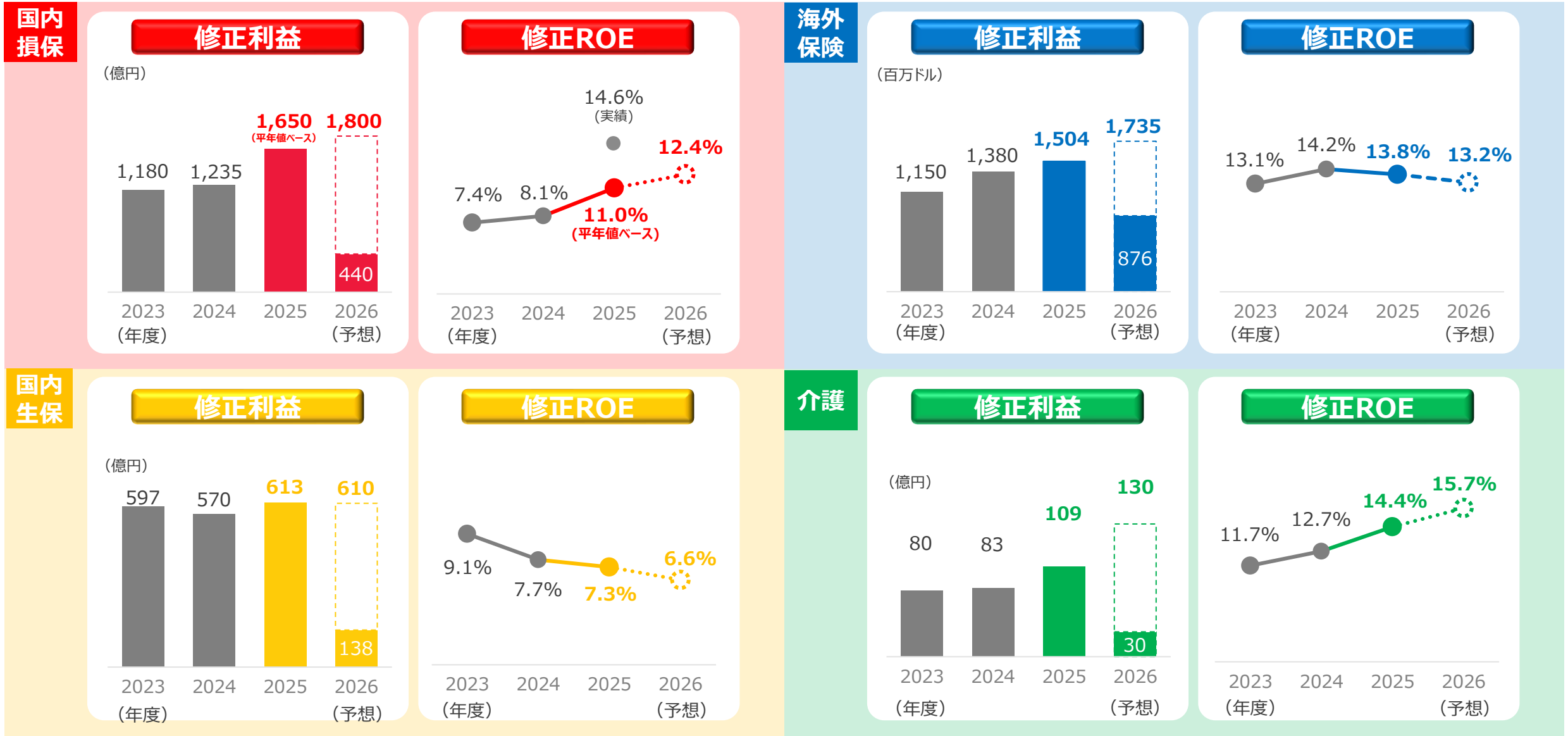
*1 Bloombergデータなどを基に当社推計

株価純資産倍率（PBR）と修正連結ROE*2の推移



*2 2021～2022年度は試算値、2026年度予想は金融市場変動影響などを中計策定時の前提に調整後のROE（調整前は11.0%）、期中の連結純資産は線形補完にて算出

事業別修正利益・修正ROEの状況



・ 海外保険数値はIFRS4号ベース(1-12月期)、介護事業の2023年度修正ROEは日本基準ベース、その他はIFRSベース
 ・ 2026年度(予想)の修正利益の棒グラフ内の色塗り部分および数値は第1四半期の実績値、海外保険事業は1-6月期実績値

- ✓ [保険会社グループが、人のプラス価値を創る時代へ | Sompoストーリーズ - SOMPOグループ](#)
- ✓ [介護、健康、お金：日本社会が抱える不安の解消 | Sompoストーリーズ - SOMPOグループ](#)
- ✓ [人的資本経営を後押しする仕事と介護の両立支援 | Sompoストーリーズ - SOMPOグループ](#)

将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

SOMPOホールディングス株式会社

I R 室

電話番号 : 03-3349-3913

Email : ir@sompo-hd.com

URL : <https://www.sompo-hd.com/>